

# ラトビア月報

## 【2014年11月】



2014年（平成26年）12月発行  
在ラトビア日本国大使館  
<http://www.lv.emb-japan.go.jp/>

### 主な内容

#### 【政治】

- ・第12回国会の初召集（P. 1）
- ・第二期ストラウユマ政権の発足（P. 1）

#### 【経済】

- ・来年から最低賃金を360ユーロに引上げ（P. 3）

#### 【外交】

- ・ストルテンベルクNATO事務総長の来訪（P. 5）

#### 【日本との関係】

- ・リガで人形舞の公演（P. 7）

※「ラトビア月報」は、ラトビアにおける政治・経済状況等について、ラトビア政府発表や各種報道等の公開資料を取りまとめたもので、在ラトビア日本大使館の見解を述べたものではありません。月別の時事情報として御参照いただければ幸いです。

【今月の注目記事】

◆第12回国会の初召集

11月4日、10月の国会選挙を受けての第12回国会が召集され、各議員が宣誓を行った。同国会では、国会議長にムールニエツェ議員（「ナショナル・アライアンス」、前議員団長）、国会副議長にダウゼ議員（「緑と農民連合」、前大統領府長官・元国会議長）及びリービニャ＝エグネレ議員（「統一」、前国会副議長）、国会書記にクレメンティエウス議員（「調和」、前国会副議長）、国会副書記にクートリス議員（「心からラトビアのために」、前憲法裁判所長官）が選出された。

また同日、ベルズィンシュ大統領が内閣に対し、ストラウユマ現首相を次期首相候補として指名する旨の文書を発出した。

10月4日の国会選挙で落選したアーボルティニャ前国会議長と同じ選挙区から当選したユンクルス議員（「統一」）は、宣誓の後に国会議員の資格を放棄すると宣言したため、次点であったアーボルティニャ氏が繰り上がり当選した。

また、同じく落選した「統一」議員のドンブロウスキス前経済相とスミルテーン議員（前ラトビア国会対日友好議員連盟会長）については、同じ選挙区から当選したレイルス議員とストラウユマ議員がそれぞれ財務相と首相に就任したため、繰上がり当選した。

◆第二期ストラウユマ政権の発足

11月5日の臨時国会で、「統一」、「緑と農民連合」、「ナショナル・アライアンス」の3党は協力協定を締結し、ストラウユマ現首相を首班とする新内閣を構成する各閣僚が政府宣言に署名した。その後、同臨時国会での議決（賛成61、反対39）を経て、同新内閣が承認された。

第二期ストラウユマ内閣の閣僚は以下の通り。（★は再任、◎は女性）

- ★首相 : ◎ストラウユマ前首相（「統一」）
- ★国防相 : ベーヨニス前国防相（「緑と農民連合」）
- ★外相 : リンケービッチ前外相（「統一」）
- 経済相 : ◎レイズニエツェ＝オゾラ前国会教育文化委員長（「緑と農民連合」）
- 財務相 : レイルス前国会予算財政委員長（「統一」）
- ★内相 : コズロウスキス前内相
- 教育・科学相 : ◎セイレ団体代表（非議員、「統一」が推薦）
- ★文化相 : ◎メルバールデ前文化相（「ナショナル・アライアンス」）
- ★社会福祉相 : アウグリス前社会福祉相（「緑と農民連合」）

★運輸相	: マティース前運輸相（「統一」）
法相	: ラスナッチ前国会書記（「ナショナル・アライアンス」）
保健相	: ベレービッチ議員（医師・企業家）（「緑と農民連合」）
環境・地域開発相	: ゲルハルズ元運輸相（非議員，「ナショナル・アライアンス」）
★農相	: ドゥークラウス前農相（「緑と農民連合」）

#### ◆国会は委員会のメンバーを承認

11月6日～10日、国会において各委員会の委員長等の指名が承認された。外交委員長はカルニンシュ議員（再任）、国家安全保障委員長はアーボルティニャ前国会議長、欧州問題委員長はチガーネ前「統一」議員副団長、予算財政委員長はシャドウルスキス前欧州議員（以上、全て「統一」所属）が就任することとなった。

ボンダルス「ラトビア地域連合」党首は本件人事に関し、国の安全保障において重要な役割を果たす国家安全保障評議会（大統領、国会議長、国会国家安全保障委員長、国会国防内務汚職防止委員長、首相、国防相、外相、内相より構成。今回は8人のうち5人が「統一」議員）の半数以上を「統一」党員が占めるようになり、10月の国会選挙での票買収の嫌疑がかけられている「統一」のザッキス議員に関する捜査を含め、国の安全保障に関わる政策が公正に行われなくなると批判している。

#### ◆リンケービッチ外相は同性愛者

11月6日、リンケービッチ外相は、ツイッター上で自身が同性愛者であることを告白した。本件に関し、7日、イルヴェス・エストニア大統領はリンケービッチ外相を「勇敢で素晴らしい外相」と賞賛した。また、ワシントン・ポスト紙は、これにより東欧諸国での同性愛者の権利についての議論が活発化する可能性がある」と報じた。

#### ◆スーパーマーケット「Maxima」崩壊事故犠牲者追悼行事の開催

リガ市内のスーパーマーケット「Maxima」の天井が崩落し54名が亡くなった昨年（2014年）の事故から1年が経過した11月21日、事故現場で犠牲者を追悼する行事が開催された。行事にはベルズィンシュ大統領やストラウユマ首相などが参列したほか、数百名の市民が現場を訪れ、花やろうそくを供えた。

#### ◆政府は2015年度予算原案を承認

11月22日、政府は2015年度予算原案を承認した。この原案によると、2015年度の歳入、歳出、財政赤字は対GDP比それぞれ33.6%、34.6%、1.0%。歳出額は2014年比で2億4000万ユーロ増となり、国防省、教育・科学省、保健省、内務省の歳出はそれぞれ対2014年比で3790万ユーロ増、3140万ユーロ

増、3110万ユーロ増、2130万ユーロ増となる。

(その後、12月9日、政府は2015年度予算案を閣議決定し、歳入は72億5300万ユーロ、歳出は74億7100万ユーロとなる見込みであることが公表された。)



### 【今月の注目記事】

#### ◆来年から最低賃金を360ユーロに引き上げ

11月10日、2015年1月1日以降の最低賃金を現行の月額320ユーロから360ユーロに引き上げることで合意を見た。

最低賃金の引き上げは他のバルト諸国でも計画されており、来年1月1日から、リトアニアの最低賃金は290ユーロから300ユーロに、エストニアの最低賃金は355ユーロから390ユーロに引き上げられる見込み。

(その後、12月3日に最低賃金の引き上げが閣議決定された。同決定によると、最低時給額も現行の1.933ユーロから2.166ユーロに引き上げられる。)

#### ◆ツィタデレ銀行の売却契約締結

11月5日、ラトビア民営化庁と米国の投資ファンド「Ripplewoods Advisors LLC」及び12の投資家との間で、ツィタデレ (Citadele) 銀行のラトビア政府保有株式売却に関する契約が締結された (売却額は7400万ユーロ)。

これまで、ツィタデレ銀行の株式は、ラトビア政府が75%、欧州復興開発銀行 (EBRD) が25%を保有していたが、今回の契約により、EBRDのシェアはそのまま、「Ripplewood」が22.4%、その他の投資家が52.6%を保有することになる。契約によると、EBRDと投資家は、1000万ユーロの増資を計画している。

#### ◆不動産購入者に対する居住許可付与制度変更後の中国人投資家の動き

11月5日報道によると、9月1日より外国人のラトビアの不動産購入による居住許可 (5年) 付与条件が25万ユーロ (約3500万円) に引き上げられた (それまで、地方都市では7万ユーロ (約980万円) 以上の不動産購入が要件であった) ことにより、中国人の居住許可申請者が見られなくなっている。これは、EU諸国の中ではキプロスがラトビアと同額の25万ユーロの不動産購入で居住許可を付与しているため、中国人による投資先がキプロスに流れたものと見られている。

#### ◆経済省が2014年のGDP成長率予測値を下方修正

11月8日報道によると、経済省は、2014年のGDP成長率予測値を、当初の4.

5%から2.5%に下方修正した。

#### ◆10月のインフレ率は0.7%

11月10日報道によると、ラトビア中央統計局は、2014年10月の物価上昇率は対前年同期比0.7%であったと発表した（物品価格は0.2%下落、サービス価格は2.9%上昇）。過去12か月間の平均物価上昇率（対前年同期比）は0.5%。

昨年10月と比較すると、食品価格が1.2%下落し、特に乳製品、砂糖、肉製品等の価格の下落が著しかった。一方で、タバコの価格は8.6%、アルコール飲料の価格は1.3%上昇した。

#### ◆9月の対ロシア輸出は13.4%増加

11月12日報道によると、ラトビア経済省は、今年9月の対ロシア輸出は対前年同期比で13.4%増加したと発表した。同省によると、ロシアによる禁輸制裁のためいくつかの産品は輸出できなくなったが、アルコールその他の飲料や化学製品等の輸出は増加している。一方で、ルーブルの下落は今後の対ロシア輸出に影響を及ぼす可能性がある。

#### ◆ロシアによる禁輸制裁の影響を感じている企業は30%

11月13日報道によると、ツィタデレ銀行が行ったロシアによる禁輸制裁の影響に関する調査で、67%のラトビア企業経営者が「影響を受けていない」と回答した。「わずかに悪影響を受けた」と答えたのは22%、「重大な悪影響を受けた」と答えたのは8%であった。同調査によると、大企業よりも中小企業の方が影響を感じている。

#### ◆ロシアによる禁輸制裁の被害額は毎月800万ユーロ——ラトビア農協発表

11月24日報道によると、ラトビア農業共同組合は、ロシアのEU産食品禁輸制裁によりラトビアの農家が受けている被害は毎月800万ユーロ近くに上ると発表した。同農協は、欧州委員会がラトビアの酪農業者に提供を決定した支援額はわずか770万ユーロで、多くの農家が不満を抱いているため、同様の問題を抱えるバルト三国の酪農業者は12月初旬にブリュッセルで抗議デモを行うと発表した。

#### ◆Paying Taxes ランキングでラトビアは26位

11月26日報道によると、プライスウォーターハウスクーパース（PwC）と世銀グループが世界190か国・地域を対象に行った納税に関するランキング「Paying Taxes 2015」（税率の低さ、納税にかかる時間、納税者数により順位付け）で、ラトビアは総合順位で26位となった。同報告書によると、ラトビアの税率は35%（うち4.9%は法人税、27.2%は個人所得税、2.9%はその他の税）で、EU平均（41%）

を下回っている。リトアニアは総合44位（税率42.6%）、エストニアは総合28位（税率49.3%）であった。

#### ◆ラトビアを訪れる外国人観光客が増加

11月25日報道によると、今年第3四半期にラトビアを訪れた外国人観光客数は対前年同期比で11.1%増加した。出身国別で特に観光客が多かったのは、日本（対前年同期比64%増）、英国（同60%増）、トルコ（38%）、ドイツ（同32%増）など。一方、ロシアからの観光客数は、ロシア国内のインフレやルーブル安などが原因で対前年同期比14.2%減少した。

また、リガ観光開発局が今年5月から9月にかけて行った調査によると、リガの観光客の1日の出費額（宿代と交通費を除く）は平均74.9ユーロであった。出費額が最も多いのはノルウェー人観光客（123ユーロ）で、最も少ないのはリトアニア人観光客（48ユーロ）。

#### ◆第3四半期のGDP成長率は2.4%

11月28日報道によると、中央統計局は、2014年第3四半期のGDPは63億ユーロで、対前年同期比で2.4%増加したと発表した。

（今年9月の速報値では、GDPは59億ユーロ、成長率は2.3%と発表していた。）

#### ◆ウクライナ危機のラトビア製薬業界への影響

11月29日報道によると、ラトビア最大の製薬会社「Grindeks」（注：日本へも抗癌剤原料を輸出）の今年1月～9月の売上高は6310万ユーロで、対前年同期比で21.5%減少した。また、同時期の輸出額も21.5%減少した。「Grindeks」社は、ロシア・ウクライナ間の地政学的状況により、これら2か国の通貨が対ユーロで下落したことが売上減少の一因であるとしている。

一方で、12月1日報道によると、製薬業界第2位の「Olainfarm」社の今年9か月間の売上は6990万ユーロとなり、対前年同期比で30%増加した。同社の主な市場はロシア、ラトビア、ウクライナ、ベラルーシなど。特に売上の増加が著しかったのは、ポーランド（714%増）、オランダ（184%増）、ウクライナ（119%増）など。

## — 外交 —

### 【今月の注目記事】

#### ◆ストルテンベルクNATO事務総長の来訪（11月20日～21日）

11月20日～21日の間、ストルテンベルクNATO事務総長はラトビアを訪問し、20日、ベルズィンシュ大統領、ストラウユマ首相等とそれぞれ会談した。会談で

は、NATOウェールズ首脳会合での決定事項の実施、NATO加盟国の安全保障・防衛体制の強化等について協議された。ストルテンベルク事務総長は、バルト海におけるNATO海軍を増強させ、より頻繁に軍事演習を行う必要性を指摘した。ストルテンベルク事務総長は、同職就任後の初の外遊先としてバルト三国を訪問した。

#### ◆ベルズインシュ大統領の訪独（11月6日）

11月6日、バルト三国大統領（ベルズインシュ大統領、グリボウスカйте・リトアニア大統領、イルヴェス・エストニア大統領）はドイツを訪問し、ガウク独大統領の主催する昼食会に出席した。各国大統領はバルト三国の独立への第一歩となった25年前のベルリンの壁崩壊、ウクライナ情勢、エネルギー安全保障、中央アジア諸国との関係強化等に関して意見交換した。

#### ◆モゲリーニEU外務・安全保障政策上級代表の来訪（11月13日～14日）

11月13日から14日にかけて、モゲリーニEU外務・安全保障政策上級代表はラトビアを訪問し、ストラウユマ首相、リンケービッチ外相、ベルズインシュ大統領とそれぞれ会談した。会談では、ラトビアのEU議長国時における協力や優先課題（EU東方パートナーシップ諸国及び中央アジア諸国との関係強化等）、ウクライナ情勢、外交・安全保障政策等について協議した。モゲリーニ上級代表及びリンケービッチ外相はEU・NATO間の協力を強化する必要があるとの意見で一致した。

#### ◆ユールマラにおける欧州人民党会合の開催（11月19日～21日）

11月19日～21日の間、ユールマラ（リガの西約20キロ）において欧州人民党の会合が開催され、ウェーバー欧州人民党総裁、ストラウユマ首相のほか、ザニエルOSCE事務総長、ドンブロウスキス欧州委員会副委員長、カタイネン欧州委員会副委員長、リムシェービッチ・ラトビア中央銀行総裁、カルニエテ欧州議員等が出席した。ストラウユマ首相はラトビアのEU議長国時の優先課題に関して説明した上で、環大西洋貿易投資パートナーシップ(TTIP：EU・米国FTA)に関し、「協定締結までに、遺伝子組み換え作物など解決する問題が残されているため、署名されるのは早くても2016年になるであろう」と述べた。

#### ◆ハモンド英外相の来訪（11月19日～20日）

11月19日～20日の間、ハモンド英外相はラトビアを訪問し、リンケービッチ外相及びベルズインシュ大統領とそれぞれ会談した。両国は二国間関係、ラトビアのEU議長国時における優先課題、ウクライナ情勢、安全保障、中東情勢等に関して協議した。

#### ◆ペントゥス＝ロシマヌス・エストニア外相の来訪（11月19日）

11月19日、ペントゥス＝ロシマヌス・エストニア外相は同職就任後初の外遊先としてラトビアを訪問し、リンケービッチ外相と会談した。両者は二国間関係、地域エネルギー・運輸プロジェクト、安全保障政策、ウクライナ情勢等に関して協議した。ペントゥス＝ロシマヌス外相はNATOウェールズ首脳会合での決定事項を実行に移す重要性を指摘し、リンケービッチ外相はラトビアのEU議長国時における優先課題、リガにおける東方パートナーシップ首脳会合等に関して説明した。

#### ◆ベルズィンシュ大統領のグルジア訪問（11月26日～27日）

11月26日～27日の間、ベルズィンシュ大統領（リンケービッチ外相、ベーヨニス国防相、マティース運輸相、レイズニエツェ＝オゾラ経済相、ドゥークラウス農業相、メルバルデ文化相、コズロウスキス内務相、セイレ教育・科学相同行）はグルジアを公式訪問し、26日、マルグヴェラシヴィリ大統領、ウスパシヴィリ国会議長、ガリバシヴィリ首相等と会談した。ベルズィンシュ大統領はグルジアのEU・NATO加盟に支持を表明し、また、最近締結されたロシア・アブハジアの同盟・戦略的パートナーシップ協定を批判し、グルジアの主権及び領土の一体性に支持を表明した。

#### ◆ムールニエツェ国会議長のリトアニア訪問（11月27日～28日）

11月27日～28日の間、ムールニエツェ国会議長（同月4日に就任）はリトアニアを公式訪問し、グリボウスカйте大統領、グロウジエネ国会議長等とそれぞれ会談した。両国は地域安全保障、ウクライナ情勢、ラトビアのEU議長国としての準備状況、エネルギー・運輸プロジェクト等について協議した。ムールニエツェ国会議長はバルト三国がロシアの情報網の影響下にあることに対して懸念を表明した。

## —日本との関係—

### 【今月の注目記事】

#### ◆リガで人形舞の公演

11月22日、リガ市の劇場「Daile Theatre」において、日本人形師のホリ・ホロシ氏による人形舞の公演が行われ、リービニャ・エグネレ国会副議長、ピルデゴビッチ外務次官ほか、多数が来場した。公演では日本文学の源氏物語等の世界を表現した人形舞「雲隠れ」「夕顔」「龍神伝説」「鳳凰」が披露された。

また、同氏がデザインした十二単のデモンストレーションも行われ、ラトビア大学の学生がモデルとなって十二単を纏った。



(会場の様子)



(人形舞の様子)



(アンコール演目「鳳凰」)



(十二単デモンストレーションの様子)

#### ◆映画監督マリス・マーティンソンス氏が撮影のため神戸へ

11月4日報道によると、ラトビア人映画監督のマリス・マーティンソンス氏は、新作映画「Magic Kimono」の撮影のため、2015年8月から9月にかけて神戸を訪れる予定。同作品には女優桃井かおり氏が出演する。マーティンソンス監督の作品に桃井氏が起用されるのは今回で3度目。同作品は、来年11月15日～22日にポーランドで行われる Camer image 映画祭で公開される予定。

#### ◆新宿伊勢丹にラトビア雑貨店が登場

11月12日から18日まで、伊勢丹新宿店にラトビア雑貨を扱うポップアップショップ「LATVIAN LIFE STYLE 『OLD&NEW』」が設置され、ラトビア産のクリスマスオーナメントや、手袋、ストール、アクセサリ、書籍などの雑貨が販売された。15日にはラトビアの伝統楽器クワクレとバイオリンによる演奏会も開催された。

#### ◆日本の食文化をテーマとしたテレビ番組の放映

11月13日、ラトビア国営テレビ(LTV 1)の人気番組シリーズ「シルマイスのカルトフード(Sirmais Kultra Edieni)」で、同年3月の訪日取材をもとにした番組が放映された。同番組は、日本各地で多くの方の協力を得て製作されたもの。

世界各地の代表的な料理について詳しく紹介しつつ、その料理を生んだ国の文化を幅

広く紹介するこのラトビア国営テレビの人気番組シリーズは、リガの人気レストランでシェフを務めるシルマイス氏が直接各国を訪問して行った取材がまとめられたもので、日本の「寿司」をテーマとした11月13日の放送では、日本の食文化のみならず、広く日本を紹介する内容となっている。

## —その他—

### ◆ラトビア人の英語能力は世界14位

11月13日報道によると、スウェーデンの語学学校EF Education Firstが発表した英語能力指数で、ラトビアは対象63か国中14位に位置づけられた。上位は1位から順にデンマーク、オランダ、スウェーデン。なお、日本は26位。

### ◆光の祭典「スタロー・リガ」の開催

11月14日から18日まで、リガで光の祭典「スタロー・リガ」が開催された。今年の参加者は約50万人で、過去最大となった。祭典の期間中、リガ市中心部では、音楽に乗せて建物に映像が映し出されたほか、光のパレードなど様々なショーやコンサートが行われた。

以上

### 2014年11月の主な出来事

日付	【内政】	【外交】
1日		
2日		
3日		
4日	第12回国会初召集	
5日	第2期ストラウユマ政権の発足 ツィタデレ銀行の政府保有株売却契約締結	
6日		ベルズィンシュ大統領訪独
7日		
8日		
9日		
10日		
11日		
12日		
13日		モゲリーニEU外務・安全保障政策上級代表来訪
14日		
15日		
16日		
17日		
18日		
19日		ペントゥス＝ロシマヌス・エストニア外相来訪 ハモンド英外相来訪（～20日） ユールマラにおける欧州人民党会合開催（～21日）
20日		ストルテンベルクNATO事務総長来訪（21日）
21日	スーパーマーケット「Maxima」崩壊事故犠牲者追悼行事の開催	
22日	政府は2015年度予算原案を承認	
23日		
24日		
25日		
26日		ベルズィンシュ大統領のグルジア訪問（～27日）
27日		ムールニエツェ国会議長のリトアニア訪問（～28日）
28日		
29日		
30日		

## ラトビア主要経済指標

ラトビアは2014年1月1日ユーロを導入した(1ユーロ≒148円)

### GDP

	単位	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014 Q1	2014 Q2	2014 Q3	出典
名目GDP	百万ユーロ	22,886	18,598	18,190	20,312	22,083	23,315	5,919	5,990	6,034	中央統計局
国民一人当たりGDP	ユーロ	10,509	8,682	8,673	9,866	10,859	11,575	2,681	2,976	3,154	中央統計局
GDP実質成長率	%	▲ 2.8	▲ 17.7	▲ 1.3	5.3	5.2	4.1	-	-	-	Eurostat

### 財政収支, 政府債務残高

	単位	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014 Q1	2014 Q2	2014 Q3	出典
財政収支	百万ユーロ	▲ 1,001	▲ 1,693	▲ 1,479	▲ 718	▲ 303	▲ 212	▲ 224	▲ 128	-	中央統計局
財政収支対GDP比	%	▲ 4.4	▲ 9.1	▲ 8.1	▲ 3.5	▲ 1.4	▲ 0.9	▲ 3.8	▲ 2.1	-	中央統計局
政府債務残高	百万ユーロ	4,534	6,870	8,096	8,527	9,013	8,873	9,071	9,177	-	中央統計局
政府債務対GDP比	%	19.8	36.9	44.5	42.0	40.8	38.1	-	-	-	中央統計局

### 失業率, インフレ率, 月額平均賃金

	単位	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014 Q1	2014 Q2	2014 Q3	出典
失業率	%	6.0	13.2	14.5	12.0	11.4	9.0	9.1	8.1	8.1	中央統計局
インフレ率	%	15.4	3.5	▲ 1.1	4.4	2.3	0.0	0.3	0.7	1.0	中央統計局
平均賃金(グロス)	ユーロ	682	655	633	660	685	716	740	763	775	中央統計局
平均賃金(ネット)	ユーロ	498	486	450	470	488	516	543	558	566	中央統計局

### 海外直接投資(FDI)

	単位	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014 Q1	2014 Q2	2014 Q3	出典
海外直接投資残高	百万ユーロ	8,126	8,072	8,184	9,360	10,258	11,472	11,527	11,690	11,736	中央銀行

### 貿易統計

	単位	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014 Q1	2014 Q2	2014 Q3	出典
輸出(FOB)	百万ユーロ	6,302	5,126	6,680	8,535	9,871	10,021	2,406	2,463	2,574	中央統計局
輸入(CIF)	百万ユーロ	10,711	6,701	8,412	10,983	12,512	12,635	3,007	3,063	3,181	中央統計局
貿易収支	百万ユーロ	▲ 4,409	▲ 1,575	▲ 1,732	▲ 2,448	▲ 2,641	▲ 2,614	▲ 601	▲ 600	▲ 607	中央統計局

### 日・ラトビア貿易(ラトビア政府統計)

	単位	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014 Q1	2014 Q2	2014 Q3	出典
日本への輸出	千ユーロ	21,870	25,035	33,634	34,792	34,615	44,091	10,186	8,470	7,585	中央統計局
日本からの輸入	千ユーロ	27,369	8,667	7,463	16,975	14,050	12,044	2,941	2,500	4,751	中央統計局
対日貿易収支	千ユーロ	▲ 5,499	16,368	26,171	17,817	20,565	32,047	7,245	5,970	2,834	中央統計局

### 日・ラトビア貿易(日本政府統計)

	単位	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014 Q1	2014 Q2	2014 Q3	出典
ラトビアへの輸出	百万円	6,693	2,043	3,458	4,050	4,908	5,054	1,074	1,375	1,466	財務省統計
ラトビアからの輸入	百万円	3,599	3,696	4,609	4,587	8,761	6,658	1,609	1,541	1,554	財務省統計
対ラトビア貿易収支	百万円	3,094	▲ 1,653	▲ 1,151	▲ 537	▲ 3,853	▲ 1,604	▲ 535	▲ 166	▲ 88	財務省統計

### 両国間の訪問者数

	単位	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014 Q1	2014 Q2	2014 Q3	出典
ラトビア→日本	人	1,296	865	875	495	807	996	329	356	262	日本入管統計
日本→ラトビア(宿泊統計)	人	6,043	6,690	5,428	5,843	7,322	8,988	1,015	4,433	6,780	中央統計局